平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名　サンデン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6444　URL　http://www.sanden.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本　満也
問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長　(氏名) 丸山　英之　TEL 03-3833-1470

四半期報告書提出予定日　平成25年11月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	132,482	10.5	721	―	754	145.8	636	30.9
25年3月期第2四半期	119,927	10.1	△438	―	306	△75.8	486	△60.3

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　4,094百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△2,306百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.67	―
25年3月期第2四半期	3.57	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	257,676	56,166	20.3	384.01
25年3月期	247,387	52,961	20.1	364.35

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　52,353百万円　25年3月期　49,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	10.00	10.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	11.7	7,000	―	7,000	―	4,500	314.9	33.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P4.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P4. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	140,331,565 株	25年3月期	140,331,565 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,998,863 株	25年3月期	4,057,097 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	136,277,575 株	25年3月期2Q	136,283,446 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国では消費や雇用情勢が堅調に推移し、回復基調が続きました。欧州では一部に景気後退に歯止めがかかる兆しが見られたものの、財政不安を背景とした停滞感が継続しました。また中国経済の成長率鈍化や、アジア地域の新興国についても景気減速に加えて、現地通貨の下落もあり、世界経済は依然として先行きが不透明な状況が続きました。

一方、国内経済においては、経済政策や金融緩和への期待感から円安や株高が進行し、景気回復の兆しが見えてきました。しかしながら、新興国経済の下振れ懸念や、円安による輸入品の価格上昇等がリスク要因としてあり、依然として楽観を許さない状況が継続しました。

このような事業環境が継続する中、当社は今年度創立70周年を迎えるにあたり、中期の重点基本戦略である「環境技術を軸とした売上成長」「体質改革による事業競争力強化」「経営システム改革による経営革新」に、全社一丸となって取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、売上面では、環境を軸とした製品・システム・サービスの展開を積極的に進めることにより、国内外で幅広い顧客ニーズに応えることができ増収となりました。

利益面では、将来成長に向けた環境技術開発等の投資を積極的に行いましたが、前年度下期より取り組んできました体質改革活動を継続して推進するとともに、継続的なコスト削減および生産性改善により、営業増益となりました。

その結果、売上高は132,482百万円（前年同期比10.5％増）、営業利益721百万円（前年同期営業損失438百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

Ａ．自動車機器事業

自動車機器事業においては、主力の欧州で景気低迷の影響を受けたものの、顧客の環境ニーズに応えた新製品投入や、当社の強みである小型・軽量・高効率のコンプレッサーによる既存ビジネスの拡大が進み、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

利益面におきましては、現地生産化・内製化等の継続投資や、将来成長に向けた環境技術開発等への投資を行う一方、継続的なコスト削減および生産性改善を進め、円安効果もあり増益となりました。

その結果、売上高は88,205百万円（前年同期比20.4％増）、営業利益は783百万円（前年同期営業損失1,723百万円）となりました。

Ｂ．流通システム事業

流通システム事業においては、環境指向を捉えた製品・システム提案等を継続してまいりましたが、顧客の投資抑制の影響もあり、売上高は前年同期に比べ減収となりました。

利益面では、継続的な生産性向上および事業体質強化への取り組みを行いましたが、上記の減収影響により、前年同期に比べ減益となりました。

その結果、売上高は39,732百万円（前年同期比6.2％減）、営業利益は1,436百万円（前年同期比28.4％減）となりました。

Ｃ．その他

「環境技術を軸とした売上成長」という中期重点基本戦略に基づき、自然系冷媒であるCO_2を使用したヒートポンプ式給湯器（エコキュート）の寒冷地対応および海外展開を推進してまいりました。加えてヒートポンプ技術を活かした温水暖房機等において独自技術の開発を進めるために積極投資を続け、新たな事業領域の拡大に取り組んでおります。

（２）財政状態に関する説明

Ａ．資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて10,289百万円増加し、257,676百万円となりました。

〔資産〕

流動資産は、1,610百万円増加し、146,561百万円となりました。これは現金及び預金が117百万円、未収入金が795百万円、未収消費税が231百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、8,678百万円増加し、111,114百万円となりました。これは有形固定資産の増加4,910百万円および保有株式の時価上昇を主な要因とした投資その他の資産の増加3,150百万円等によるものです。

〔負債〕

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加3,709百万円、短期金融債務の増加6,375百万円、未払金の増加684百万円等により11,371百万円増加し、143,744百万円となりました。固定負債は、長期金融債務の減少5,547百万円を主な要因として4,287百万円減少し、57,765百万円となりました。その結果、負債合計は7,083百万円増加し、201,509百万円となりました。

〔純資産〕

純資産合計は、配当金支払い1,361百万円等により利益剰余金が732百万円減少しましたが、為替換算調整勘定の増加2,969百万円およびその他有価証券評価差額金の増加509百万円等により3,205百万円増加し、56,166百万円となりました。

Ｂ．キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し、20,079百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益644百万円、減価償却費4,861百万円、売上債権の減少3,010百万円、棚卸資産の減少2,854百万円、仕入債務の増加2,311百万円を主な要因として増加しましたが、法人税等の支払い1,286百万円等により、差引10,329百万円（前年同期比4,614百万円増）の資金を創出しました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出6,869百万円を主な支出として6,669百万円（前年同期比2,281百万円の支出減）の資金を使用しました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金3,632百万円、長期借入金1,957百万円を主な収入として増加しましたが、長期借入金の返済7,692百万円、配当金支払い1,361百万円を主な支出として差引4,071百万円（前年同期比14,577百万円の収入減）の資金を使用しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月10日の決算短信で公表しました第２四半期連結累計期間の業績予想と実績とで差異が発生しました。詳細は、11月６日付「平成26年３月期第２四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、当社および国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年４月１日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社はグローバルに拡大する事業環境に対応するため、現地生産体制の強化・拡大を進めてまいりました。一方、国内工場は技術開発と物づくりを担う生産体制の構築がほぼ完了し、今後は安定的な稼動になると見込まれます。このことから、当社および国内連結子会社においては、有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することで、有形固定資産の使用実態をより適切に反映できると判断いたしました。

この変更に伴う損益への影響額は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,970	20,088
受取手形及び売掛金	66,918	66,705
商品及び製品	20,179	19,701
仕掛品	8,160	8,044
原材料	13,197	12,539
その他のたな卸資産	3,091	3,292
繰延税金資産	3,588	3,574
未収入金	2,761	3,557
未収消費税等	3,728	3,960
その他	4,379	6,297
貸倒引当金	△1,025	△1,200
流動資産合計	144,950	146,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,015	21,831
機械装置及び運搬具（純額）	23,714	25,450
工具、器具及び備品（純額）	3,404	4,301
土地	20,004	19,521
リース資産（純額）	5,301	5,459
建設仮勘定	6,821	7,608
有形固定資産合計	79,262	84,173
無形固定資産		
のれん	15	427
リース資産	167	145
その他	3,050	3,277
無形固定資産合計	3,233	3,850
投資その他の資産		
投資有価証券	17,973	20,957
繰延税金資産	890	1,002
その他	1,291	1,345
貸倒引当金	△215	△214
投資その他の資産合計	19,940	23,090
固定資産合計	102,436	111,114
資産合計	247,387	257,676

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,594	48,304
短期借入金	52,747	58,172
1年内返済予定の長期借入金	12,651	13,520
未払金	7,965	8,649
リース債務	1,115	1,196
未払法人税等	1,106	532
賞与引当金	2,890	3,202
売上割戻引当金	366	552
製品保証引当金	1,377	1,576
その他	7,558	8,037
流動負債合計	132,373	143,744
固定負債		
長期借入金	53,149	46,942
リース債務	3,505	4,164
繰延税金負債	1,018	1,308
退職給付引当金	3,063	3,141
役員退職慰労引当金	179	179
環境費用引当金	558	556
負ののれん	18	－
その他	559	1,472
固定負債合計	62,052	57,765
負債合計	194,426	201,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	4,453	4,453
利益剰余金	39,855	39,123
自己株式	△2,197	△2,165
株主資本合計	53,149	52,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,821	2,330
繰延ヘッジ損益	113	37
為替換算調整勘定	△5,433	△2,463
その他の包括利益累計額合計	△3,498	△95
少数株主持分	3,309	3,813
純資産合計	52,961	56,166
負債純資産合計	247,387	257,676

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	119,927	132,482
売上原価	101,087	110,397
売上総利益	18,839	22,084
販売費及び一般管理費	19,278	21,363
営業利益又は営業損失（△）	△438	721
営業外収益		
受取利息	30	37
受取配当金	72	95
為替差益	372	―
持分法による投資利益	815	1,245
その他	770	409
営業外収益合計	2,061	1,787
営業外費用		
支払利息	1,083	1,209
為替差損	―	384
その他	233	160
営業外費用合計	1,316	1,755
経常利益	306	754
特別利益		
固定資産売却益	2	30
受取保険金	245	―
社会保険料還付金	366	―
その他	10	1
特別利益合計	624	31
特別損失		
固定資産処分損	64	141
その他	0	0
特別損失合計	64	141
税金等調整前四半期純利益	866	644
法人税等合計	556	262
少数株主損益調整前四半期純利益	310	381
少数株主損失（△）	△176	△255
四半期純利益	486	636

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	310	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	509
繰延ヘッジ損益	△46	△76
為替換算調整勘定	△1,864	2,110
持分法適用会社に対する持分相当額	△197	1,169
その他の包括利益合計	△2,616	3,712
四半期包括利益	△2,306	4,094
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,154	4,039
少数株主に係る四半期包括利益	△152	55

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	866	644
減価償却費	4,359	4,861
賞与引当金の増減額（△は減少）	252	296
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9	125
受取利息及び受取配当金	△102	△132
支払利息	1,083	1,209
持分法による投資損益（△は益）	△815	△1,245
受取保険金	△245	－
売上債権の増減額（△は増加）	△2,358	3,010
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,189	2,854
未収入金の増減額（△は増加）	508	△615
未収消費税等の増減額（△は増加）	330	250
仕入債務の増減額（△は減少）	5,484	2,311
未払金の増減額（△は減少）	△240	269
その他	△810	△1,280
小計	6,113	12,558
利息及び配当金の受取額	199	267
利息の支払額	△1,101	△1,210
保険金の受取額	616	－
法人税等の支払額	△113	△1,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,715	10,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,628	△6,869
有形固定資産の売却による収入	161	869
無形固定資産の取得による支出	△424	△415
投資有価証券の取得による支出	△1,013	△211
投資有価証券の売却による収入	17	－
その他	△62	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,950	△6,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	653	3,632
長期借入れによる収入	16,574	1,957
長期借入金の返済による支出	△5,033	△7,692
リース債務の返済による支出	△680	△617
配当金の支払額	△1,021	△1,361
その他	13	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,506	△4,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△208	527
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	7,061	117
現金及び現金同等物の期首残高	14,842	19,961
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	11	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,915	20,079

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	自動車機器事業	流通システム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	73,260	42,381	115,641	4,286	119,927	－	119,927
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	73,260	42,381	115,641	4,286	119,927	－	119,927
セグメント利益又は損失（△）	△1,723	2,005	282	△720	△438	－	△438

（注）１．「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	自動車機器事業	流通システム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	88,205	39,732	127,938	4,544	132,482	－	132,482
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	88,205	39,732	127,938	4,544	132,482	－	132,482
セグメント利益又は損失（△）	783	1,436	2,219	△1,498	721	－	721

（注）１．「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。